

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-2
-----	------------------	----	-----

事業名	みどりの循環県民活動推進事業		
事業費	15,064 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

## 1 目的

### ① みどりの循環県民活動の推進

植樹や間伐、木製品や木質バイオマスエネルギーの利用など「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」を体験できるメニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組みを年間を通して進めていく。

### ② やまがた緑環境税の普及啓発

やまがた緑環境税に関する普及啓発を実施する。

## 2 事業概要

### ① みどりの循環県民活動の推進

- ・「やまがた森の感謝祭2017」の開催（6/3尾花沢市 徳良湖畔子ども広場）
- ・地区感謝祭の開催
  - 最上 10/7 大蔵村「肘折いでゆ館」（大蔵村）
  - 置賜 9/16 長井市草岡「古代の丘」（長井市）
  - 庄内 10/21～22 小真木原公園（鶴岡市）、10/22 みなと市場駐車場（酒田市）
- ・森のホームステイ事業
  - 竹ポット苗づくり（5月～2月）
  - 植栽 ・もくロックの森（南陽市）7/8 ・イオンの森（飯豊町）9/24
  - ・南陽・草木の森（南陽市）10/6 ・トラックの森（山辺町）10/15
- ・間伐体験会及び森のエネルギー見学会（9/30、11/18）
- ・木エクラフト体験会（10/14～15、10/28～29）
- ・森づくりリレーの実施（6月～3月）

### ② やまがた緑環境税の普及啓発

- ・新聞広告掲載による広報
- ・モンテディオ山形マッチデープログラム広告掲載（県民応援デー）
- ・シンボルマーク焼印入りコースター、やまがた緑環境税名称入りボールペン及び鉛筆の作成
- ・県広報媒体を活用した広報・周知
  - （YBC「やまがたサンデー5」（10/22、2/25）、「森林やまがた」）
- ・山形県林業まつりでのPR（10/14～15）
- ・やまがた環境展2017でのPR（10/28～10/29）
- ・県内公共施設等や大型ショッピングモールでの展示・PR
- ・広報誌「もりしあ」の発行・配布（B5判 年2回、20,000部/回）

## 3 成果と課題

### 【成 果】

- ① 森と暮らしのつながりを感じる体験イベントに、多くの県民の方に参加していただき、森づくりの大切さを実感してもらえた。
- ② 広報誌「もりしあ」を発行し、やまがた緑環境税の趣旨や活用事業をわかりやすく紹介することで、県民に対して広く普及啓発することができた。

### 【課題・対応】

市町村等と連携しながら各種イベント、広報媒体、パネル展、普及啓発物品の活用などを組み合わせて実施することで、やまがた緑環境税の周知を図る。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 29 年みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

### やまがた森の感謝祭と各地域の森の感謝祭



▲やまがた森の感謝祭 2017	6月 3日	徳良湖畔子ども広場 (尾花沢市)
▲置賜地域森の感謝祭	9月 16日	古代の丘 (長井市)
▲最上地域森の感謝祭	10月 7日	肘折いでゆ館 (大蔵村)
▲庄内森とみどりのフェスティバル 2017	10月 21日～22日	小真木原公園 (鶴岡市)
	10月 22日	みなと市場駐車場 (酒田市)

### みどりの循環県民活動推進事業

#### 森を守り・育てる



▲間伐体験会  
9月30日、11月18日  
鶴岡市温海で計画  
・23名参加



#### 暮らしに活かす



▲木質バ 休み発電施設見学 (鶴岡市)  
・チップ加工工場とそれを燃料とした発電所を見学  
・23名参加

▲木エクラフト体験  
・林業まつり (10月14日～15日)  
・やまがた環境展 (10月28日～29日)  
その他、森の感謝祭、地域感謝祭などで実施

#### 森のホームステイの実施



▲森のホームステイ  
森で採取したドングリや稚樹を家庭や学校、職場などで2年間育ててもらい、再び森に返す活動です。



▲普及啓発  
コースター等の作成・配布

▲普及啓発  
広報誌「もりしあ」の発行



#### 森づくりリレー旗の交付



▲森づくりリレー  
やまがた森の感謝祭 2017 をスタートに、県内各地の森づくり活動をつないでいます。